

くじら組だより

令和8年3月25日

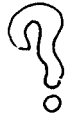
天沼保育園

くじら組



今年度一年間、様々なご理解ご協力ありがとうございました。楽しいことも悲しいことも悔しいことも面白いことも、色々なことをクラスのみならず、あるいはご家族と経験してきたくじら組さんは、これからも色々なことを感じながら、今をより良く楽しめるように考え工夫して生きていって欲しいと思います。子どもたちみんなも、保護者の皆さんも、もし立ち止まることがあったり、支えが必要な時は、ぜひ天沼保育園を頼ってくださいね。そして何より、この保育園で出会った友達や子育ての大変さを伝え合った仲間をいつまでも大切にしてほしいなと思います。お疲れ様でした。そして、おめでとうございます。

【なんでだろうの続き】



夕方に集まった時に恒例でみんなにその日に感じた「なんでだろう」を発表してもらっていました。答えは出なくても「なんでだろう」「こういう理由かもしれない」と色々自由に考えることを楽しんでもらえるように考えていましたが、気になった「なんでだろう」をご家庭で聞いてきたり調べようとする子もいて、どうせならみんなで共有した方が面白そうだと、みんなで一つのテーマについて調べてみることになりました。みんなで相談して決まったテーマは以前集まりで出された「車はなんで動くのか」という疑問です。

みんなで集まり「どうやってしらべようか」と話して保育園にある絵本や図鑑で調べてみることになりました。みんな図鑑という図鑑を引っ張り出し、隣の部屋にまで借りに行き「これはちがう」「あ、ここのものだよ」「でんしゃはあるね」と頑張って探していました。他の子は「じむしょにきいてくるね」と言って詳しくな人を探して、教えてもらう作戦を試していました。図鑑チームが頑張って探すと、やっと簡単なイラストと車の一部が（エンジンと燃料タンクと他など）説明されたページが見つかりました。そして事務所チームも園長にイラストを描いてもらい口頭でレクチャーを受けて返ってきました。早速事務所チームに説明をしてもらおうと一生懸命に話してくれて、図鑑チームが見つけたページも大人が読んでみました。何人かの子は「わかったー」と喜んでいたのですが、「わかんない」と言う子もいて、もう少し調べて車について大きな絵を描いてみることになりました。日に日に絵の中の部品の名前が増えていき、段々と車の絵が出来上がって来ています。この絵が完成した時に子どもたちが「まだわからない」と思うのか、「できてよかった」と思うのか、その時までわかりませんが、楽しんで続けたいと思います。

興味のあることに関してこんなにも不思議に思えたり、気になることを調べてみようという気持ちがあり、なによりみんなで力を合わせることを楽しめるくじら組のみんなが、これからも人と関わり興味を広げて、何事も楽しんでくれると思っています。



卒園まで まだまだたくさん遊ぼうね！